

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覧

主食		
前月よりも落ち込んだものの、前年比104.1%と前年を上回った。値上げによる価格上昇が影響しており、販売数量では苦戦したカテゴリも見られる。 「米」: 値上げによる販売金額の伸びが見られる。ほかの主食と比べてコストがよいため販売数量も底堅く推移。 「米飯類」: 値上げによる販売金額の伸びも見られるが、販売数量も底堅く推移。うなぎ丼風味の新商品の寄与もあがえた。 「シリアル類」: プロテイン入りのものなど新商品の寄与もあり、グラノーラタイプが好調。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
主食 TOTAL	104.1	-2.0
米	136.2	-1.1
米飯類	107.8	1.8
食パン		
菓子パン・調理パン	101.6	1.2
シリアル類	107.6	-3.5
袋インスタント麺	102.0	-7.1
カップインスタント麺	100.9	-2.2
乾麺		
生麺・ゆで麺		
スバゲティ		
マカロニ類	100.9	5.5
小麦粉		
てんぷら粉		
唐揚げ粉	103.8	-0.5
パン粉	102.0	-0.9
ブレミックス		

調味料		
前月よりも落ち込んだものの、前年比100.7%と前年を上回った。主食と同様に値上げによる価格上昇が続いており、販売数量では苦戦したカテゴリも見られる。 「蜂蜜」: 値上げの影響による販売金額の伸びも見られるが、産地や品質を訴求する高価格帯商品の人気もあがえた。 「ケチャップ・煮干し」: 値上げの影響による販売金額の伸びも見られるが、コストの低いプライベートブランド商品の好調も寄与。 「ゴマ油」: 値上げによる販売金額の伸びも見られるが、販売数量でも純正タイプよりもコストの低い調合タイプの好調がうかがえる。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
調味料 TOTAL	100.7	-2.3
醤油	100.2	-4.2
味噌	102.3	-3.0
食塩		
料理酒	102.6	-1.9
砂糖		
低カロリー甘味料		
シロップ類		
蜂蜜	109.6	4.4
ソース	105.7	-0.9
ケチャップ	113.0	0.4
マヨネーズ		
ドレッシング		
香辛料	104.3	-6.1
エッセンス類	102.5	-6.2
焼肉シャブシャブのタレ		
食酢		
ほん酢		
本みりん	102.2	-1.9
みりん風調味料	104.0	1.4
風味調味料	100.0	-2.3
削り節	109.4	0.1
煮干し	107.9	-2.9
わかめ・こんぶ類	100.6	-3.5
つゆ・煮物料理の素		
サラダ油・天ぷら油		
ゴマ油	108.5	-2.8
バター	104.4	-1.5
マーガリン類		
チーズ		
ジャム・ママレード	100.1	-4.4

加工食品①		
前月よりも落ち込んだものの、前年比101.3%と前年を上回った。 「海苔」: 値上げによる販売金額の伸びが見られるものの、販売数量は伸び悩んだ。そうした中、味付け海苔の大容量プライベートブランド商品がコストの良さから販売数量でも増加。 「冷凍水産」: 値上げの影響による販売金額の伸びも見られるが、コストの良いプライベートブランド商品の好調も寄与。 「冷凍農産」: ブロッコリーの好調が続くほか、気温が上昇したためか、ブルーベリーやマンゴーなど冷凍フルーツが人気となった。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
加工食品① TOTAL	101.3	-1.7
春雨・くず切り	104.9	-5.0
こや豆腐		
海苔	106.1	-5.1
ふりかけ	101.4	-2.4
お茶漬の素	102.5	-4.3
まぜご飯の素		
カレー		
シチュー		
パスタソース		
シチューベース		
メニュー専用料理の素	101.3	-1.2
スープ類		
味噌汁・吸物類	102.8	-0.7
調理用スープ		
冷凍水産	108.9	0.6
冷凍農産	109.0	-4.2
冷凍調理	101.4	-0.9

※網掛け
前年比 105%超: 105.5%

加工食品②		
前月よりも落ち込み、前年比99.3%と前年を下回った。 「パウチ入り食材」: 値上げによる販売金額の伸びも見られるが、準備や片付けの手軽さからか、ツナやフルーツなどの販売数量が底堅く推移。 「和風食品」: 準備や片付けの手軽さからか、ゆで卵や玉子焼きなどの商品が好調。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
加工食品② TOTAL	99.3	-2.3
魚介類缶詰		
野菜缶詰	102.2	-0.1
フルーツ缶詰	100.6	-5.9
畜肉缶詰		
パウチ入り食材	112.6	-0.7
和風食品	103.0	-2.3
洋風食品		
中華風食品		
畜肉ハム		
畜肉ソーセージ		
魚肉ソーセージ	100.5	-2.6
焼豚	100.6	-2.1
ベーコン		

加工食品③		
前月よりも落ち込み、前年比99.8%と前年をやや下回った。 「煮豆」: 前月にテレビ番組で取り上げられた影響が続いているためか、黒豆の販売金額が伸長した。 「もずく・めかぶ」: もずくが伸長しており、平年よりも気温が高かったことが需要を伸長させたと推察。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
加工食品③ TOTAL	99.8	-1.7
かまぼこ		
ちくわ		
はんぺん		
揚げ物		
納豆	100.3	-0.6
煮豆	103.3	-1.8
佃煮	101.0	-1.2
もずく・めかぶ	103.0	-9.0
豆腐類	100.2	-3.9

加工食品④		
前月よりも落ち込んだものの、前年比105.4%と前年を上回った。 「キャンディ」: グミの好調が続くほか、気温が上がったためか、塩分を含み熱中症対策の効果を訴求するタブレットの販売も増加した。 「玩具メーカー菓子」: テレビアニメなどのキャラクター商品が人気となり、大きく伸長。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
菓子 TOTAL	105.4	-0.5
チョコレート	106.4	1.1
キャラメル		
キャンディ	113.7	-1.8
チューインガム		
ビスケット&クラッカー	106.7	-1.2
スナック	102.3	-0.8
煎餅・あられ	103.1	0.0
玩具メーカー菓子	136.2	-0.8
栄養バランス食品		

嗜好品		
前月よりも落ち込んだものの、前年比100.8%と前年を上回った。 「紅茶」: 値上げによる販売金額の伸びも見られるが、フルーツティーのアソート商品の販売数量の増加がうかがえた。 「ココア」: 腸活などの効果を訴求する機能性表示食品の好調が続いている。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
嗜好品 TOTAL	100.8	-3.8
アイスクリーム	101.4	-5.4
デザート類	101.0	-1.8
ペビーフード		
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム	101.2	-1.7
ホイップクリーム	101.0	-2.9
インスタントコーヒー	100.1	1.5
レギュラーコーヒー		
紅茶	103.4	2.8
ココア	111.5	0.0
日本茶		
麦茶		
中国茶		

飲料		
前月よりも落ち込み、前年比98.3%と前年を下回った。 「果汁飲料」: 塩分を含み熱中症対策になると訴求する商品の好調が続く。水分補給の需要を捉えていると推察される。 「トマトジュース」: 血圧を下げる効果などを訴求する機能性表示食品の好調が見られた。 「炭酸飲料」: 無糖や甘さ控えを訴求する商品が好調となったほか、コーヒーブランドのフルーツ炭酸などの新商品が販売増に寄与した。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
飲料 TOTAL	98.3	-2.9
牛乳	101.4	-3.7
ヨーグルト		
乳酸菌飲料		
豆乳	100.2	-4.5
100%ジュース		
果汁飲料	113.2	-4.7
トマトジュース	114.1	-18.6
野菜ジュース		
コーラ		
サイダー		
炭酸飲料	107.8	-10.6
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク		
液体茶		
スポーツドリンク		
美容・健康ドリンク		
栄養ドリンク		
ミネラルウォーター類		
乳酸飲料		

アルコール		
前月よりも落ち込み、前年比96.1%と前年を下回った。 「ワイン」: スパークリングワインの缶タイプが好調が見られた。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
アルコール TOTAL	96.1	-4.5
ビール類		
ウイスキー	101.1	-1.2
ワイン		
日本酒		
焼酎		

日用品		
前月よりも落ち込んだものの、前年比101.7%と前年を上回った。販売金額の伸びには、中性洗剤や漂白剤など各種雑貨で値上げの影響が見て取れる。 「洗濯用洗剤」: 錠剤タイプで使いやすく、洗浄力が強いと訴求する商品の好調が続いている。 「大人紙おむつ」: 値上げによる販売金額の伸びも見られるが、軽失禁用品などの販売数量も堅調に推移。 「使い捨てカイロ」: セルフケアに使用できる目元用の商品が、インバウンド需要の寄与もあってか好調となった。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
日用品 TOTAL	101.7	-4.3
歯ブラシ	100.1	-6.0
歯磨き	103.2	-4.2
マウスウォッシュ		
義歯用剤	102.3	-4.8
洗濯用洗剤	109.8	-4.4
中性洗剤	109.8	-7.2
漂白剤	104.8	-14.6
柔軟剤	105.3	-7.6
台所用洗剤	104.1	-5.3
住居用クリーナー	101.9	-9.5
トイレ用クリーナー	103.4	-5.4
バスクリーナー	102.5	-4.9
パイプクリーナー		
家庭用手袋	100.7	0.1
化学雑巾		
たわし・スポンジ		
水切り袋		
殺虫剤		
防虫剤		
カビ防止剤		
芳香・消臭剤		
トイレット用洗浄芳香剤	103.8	-5.8
除湿剤		
ラッピングフィルム		
アルミホイル	103.4	-5.4
食品包装用品	104.2	-2.8
アルミガスケット		
ティッシュペーパー		
トイレットペーパー	100.3	-2.2
ペーパータオル	101.0	-1.0
ぬれティッシュ		
使い捨て紙クリーナー	100.8	-1.9
紙おむつ	109.6	-2.8
大人紙おむつ		
生理用品	105.1	-3.0
絆創膏	104.0	-7.2
使い捨てカイロ	109.0	1.7
綿棒	101.8	-2.0

ペット		
前月よりも落ち込み、前年比99.0%と前年を下回った。 「キャットフード」: 値上げの影響により販売金額は伸びているものの、販売数量は伸び悩んだ。好調だったおやつタイプで伸びの勢いが鈍化してきている。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
ペット TOTAL	99.0	-6.2
ドッグフード		
キャットフード	101.5	-4.3
ペット用品		

石鹸・ヘアケア		
前月よりも落ち込んだものの、前年比101.3%と前年を上回った。 「シャンプー」: 値上げによる販売金額の伸びも見られたが、ダメージケア用の商品の販売数量は堅調に推移した。 「アウトバスヘアケア」: トリートメント目的のヘアクリームが好調が見られた。セルフケア需要の高まりがうかがえる。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
石鹸・ヘアケア TOTAL	101.3	-3.6
石鹸	102.1	-6.0
入浴剤	100.0	-5.4
シャンプー	103.3	-2.0
ヘアリンス	101.5	-3.0
ヘアトリートメント	100.6	-1.8
アウトバスヘアケア	105.4	-1.0
ヘアカラー		
育毛トニック		
制汗剤	100.8	-2.1

化粧品		
前月よりも落ち込んだものの、前年比104.9%と前年を上回った。スキンケアを中心にインバウンド需要が活況となる中、セルフケア需要の高まりにより国内需要も堅調に推移している。とりわけ好調なパックは、人気タレントによるブームの影響もあると推察。 メイクアップ化粧品で伸長した口紅は、落ちにくく、唇の色となじみやすいことを訴求する新商品の寄与が見られた。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
化粧品 TOTAL	104.9	-3.7
クレンジング	105.7	-3.4
洗顔クリーム	103.7	-4.4
化粧水	101.4	-3.0
乳液	106.9	-2.9
栄養クリーム	107.4	-3.0
パック	139.1	-7.0
美容液	110.3	-1.5
化粧下地		
ファンデーション		
おしろい		
口紅	102.9	2.0
眉目料		
マニキュア		

医薬品		
前月よりも落ち込み、前年比95.4%と前年を下回った。 「鼻炎治療剤」: 前月ほどの勢いはないものの、イネ科など夏から秋に飛散する花粉対策の需要で販売が伸びたとうかがえる。 「鎮咳去痰剤」: コロナの感染拡大が見られ、のどに痛みが出やすいため、販売が伸長したと考えられる。インバウンド需要の寄与もあがえた。 「整腸薬、外用鎮痛消炎剤」: 前月ほどの勢いはないものの、インバウンド需要の寄与が見られた。		
カテゴリ	金額前年比 2024年7月	前月差 2024年7月
医薬品 TOTAL	95.4	-3.0
コンタクト用剤		
マスク		
ミドリンク剤		
漢方薬		
総合感冒薬	100.3	-1.4
鼻炎治療剤	103.2	-11.2
解熱鎮痛剤		
鎮咳去痰剤	107.5	-2.8
口腔用薬		
胃腸薬		
整腸薬	101.7	-3.6
外用鎮痛消炎剤	101.6	-5.9
皮膚用薬		
目薬	100.3	-7.2
健康食品		

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。
利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。
また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。